



松本カーフリーデーとは ～スロー・イズ・ビューティフル 花を愛でる速度でいこう～

「松本市ノーマイカーデー推進市民会議」が主体となり、過度に車に依存した日常生活を見直し、徒歩・自転車・公共交通機関による移動の促進を図る「ノーマイカー運動」の一環として取り組んでいます。

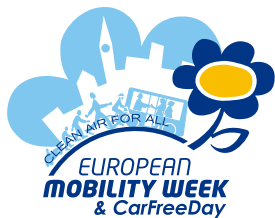
松本市は、名古屋市・横浜市とともに2004年から日本で初めてヨーロッパカーフリーデーに参加（賛同都市）し、2007年には、中町・高砂・縄手通りで初めて車止めを伴うカーフリーエリアを設置しました。



松本カーフリーデーのねらい

1. 地球温暖化や大気汚染の問題を認識する 気候変動や環境問題を考え、自動車の利用をできる限り抑制する。
2. 人や自転車の空間を優先する 市街地空間の有効利用や健康増進を考え、人や自転車優先の視点から都市交通を見直す。
3. 公共交通を強化し利用を促進する 環境やエネルギー、交通渋滞などの問題を考え、公共交通を強化し、利用を促進する。
4. 地域の宝を再認識する 徒歩や自転車を利用することにより、街を再発見し、コミュニティを活性化する機会とする。

カーフリーデーとは ～街では車を使わない日～



環境問題、交通渋滞、中心市街地の衰退など、車社会がもたらすデメリットを改善するため、毎年9月22日に街の中心部で「車の休日」を体験する、世界規模の社会啓発運動です。

1997年にフランスの大西洋岸にある小都市ラ・ロッシュェルで始まった「車のない日」が発端となり、2000年からEJによる世界的なプロジェクトとなりました。

今では、世界で2,000以上の都市が参加するまでに発展しています。

現在カーフリーデーは、9月16日～9月22日に開催される「ヨーロッパモビリティウィーク」の中心イベントとなっています。

2008年のテーマは、「みんなにきれいな空気を！(Clean air for all)」です。

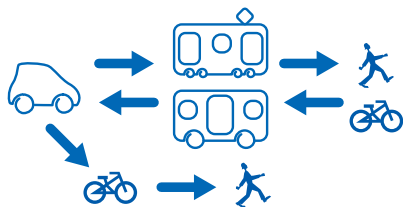


▲カーフリーデー参加国



◀松本カーフリーデー 2007

TDM 施策推進の重要性 ※TDM: Transportation Demand Management (交通需要マネジメント)



これまで交通量に見合った道路整備により交通環境の改善を図ろうとしてきましたが、道路整備を追いかけるように交通量が増加し、その効果をなかなか実感できないのが現状です。

道路整備と並行し、パークアンドライドやエコ通勤の推進、モビリティ・マネジメント等、交通量そのものを減少させるTDM施策の推進が、益々重要となってきています。



松本市ノーマイカーデー推進市民会議 構成団体 (2008年)

株式会社 IHI シバウラ/株式会社井上/株式会社奥原造園/「環境の世紀」をめざして・まつもと発 21/キッセイ薬品工業株式会社/信州大学/ 中信アスナ株式会社/中部電力株式会社 松本営業所/株式会社長野銀行/長野県松本地方事務所/長野鉄道車輛整備株式会社 松本支店/長野 三菱電機機器販売株式会社/鍋林株式会社/松田・南信株式会社 松本支店/日本銀行松本支店/株式会社八十二銀行/花村産業株式会社/東日 本旅客鉄道株式会社 松本駅/松本警察署/松本市交通安全市民運動推進会議/社会福祉法人松本市社会福祉協議会/松本市女性団体連絡協議会 /松本市町会連合会/松本商工会議所/松本信用金庫/松本青年会議所/松本大学/松本地区タクシー協議会/松本電気鉄道株式会社/松本ハイ ランド農業協同組合/三菱電機株式会社 関越支社長野支店/株式会社村瀬組/連合長野松本広域協議会/(会)自転車の街・力車/特定非営利活動 法人 情報ネットワーク自然所/特定非営利活動法人 SCOP/松本市 (登録順)